

2022年3月期 第2四半期決算説明会 ご説明用資料

2022年3月期 第2四半期決算概要

2022年3月期 業績予想

すべては変革のために

b-en-g

Business Engineering Corporation

2021年11月12日

ビジネスエンジニアリング株式会社

3つの事業セグメント

ソリューション事業

SAPを始めとする他社製の
パッケージ製品をベースとした
SI

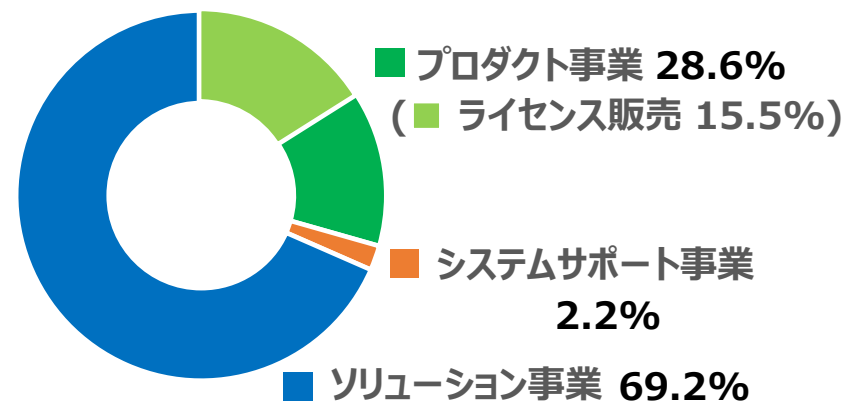
プロダクト事業

mcframe のライセンス販売
および
mcframe を中心としたSI

システムサポート事業

運用・保守サービス／システム開発

21年3月期 売上構成 (17,707百万円)



3事業セグメントで提供

- 製造業に関する豊富な知識と経験に基づくシステムインテグレーション
- 長年のノウハウを注いで自社開発した、高い利益率のライセンス販売
- 納入後のシステムを活用する運用保守サービス

2022年3月期

第2四半期決算の概要

事業環境

- COVID-19や供給制約等の影響が懸念されるが、企業収益は改善基調。
- 製造業の情報化投資は総じて堅調。特にDXニーズは底堅い。

決算概要

ソリューション事業で不採算案件が発生
プロダクト事業のライセンス販売が大幅に伸長
システムサポート事業が採算性向上

- 売上高 前期比微減 (Δ 1.5%)
- 利益 前期比微増 (営業利益で+1.5%)
※4期連続過去最高益を更新
- mcframeライセンス売上高は大幅に伸長、過去最高を連続更新

損益の概要（対5/13業績予想比較）

	2021年度上期 実績	5/13 業績予想	差異 (増減率)
売上高	8,850	8,400	450 (+5.4%)
売上総利益	2,902	2,760	142 (+5.2%)
売上総利益率	(32.8%)	(32.9%)	(△0.1%) ※
営業利益	1,154	1,000	154 (+15.5%)
営業利益率	(13.0%)	(11.9%)	(+1.1%) ※
経常利益	1,160	1,000	160 (+16.0%)
経常利益率	13.1%	11.9%	(+1.2%)
四半期純利益	790	670	120 (+18.0%)
四半期純利益率	8.9%	8.0%	(+0.9%)
受注高	8,450	8,400	50 (+0.6%)

ソリューション事業は不採算
案件により計画を下回った
プロダクト事業のライセンス
販売増とシステムサポート事
業の採算性向上により計画
を上回った

※:利益率の差異

注：本説明資料の記載金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。
また、「親会社株主に帰属する当期純利益（四半期純利益）」を「当期純利益（四半期純利益）」と表示しております。
※2020年度上期実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

損益の概要（前期比較）

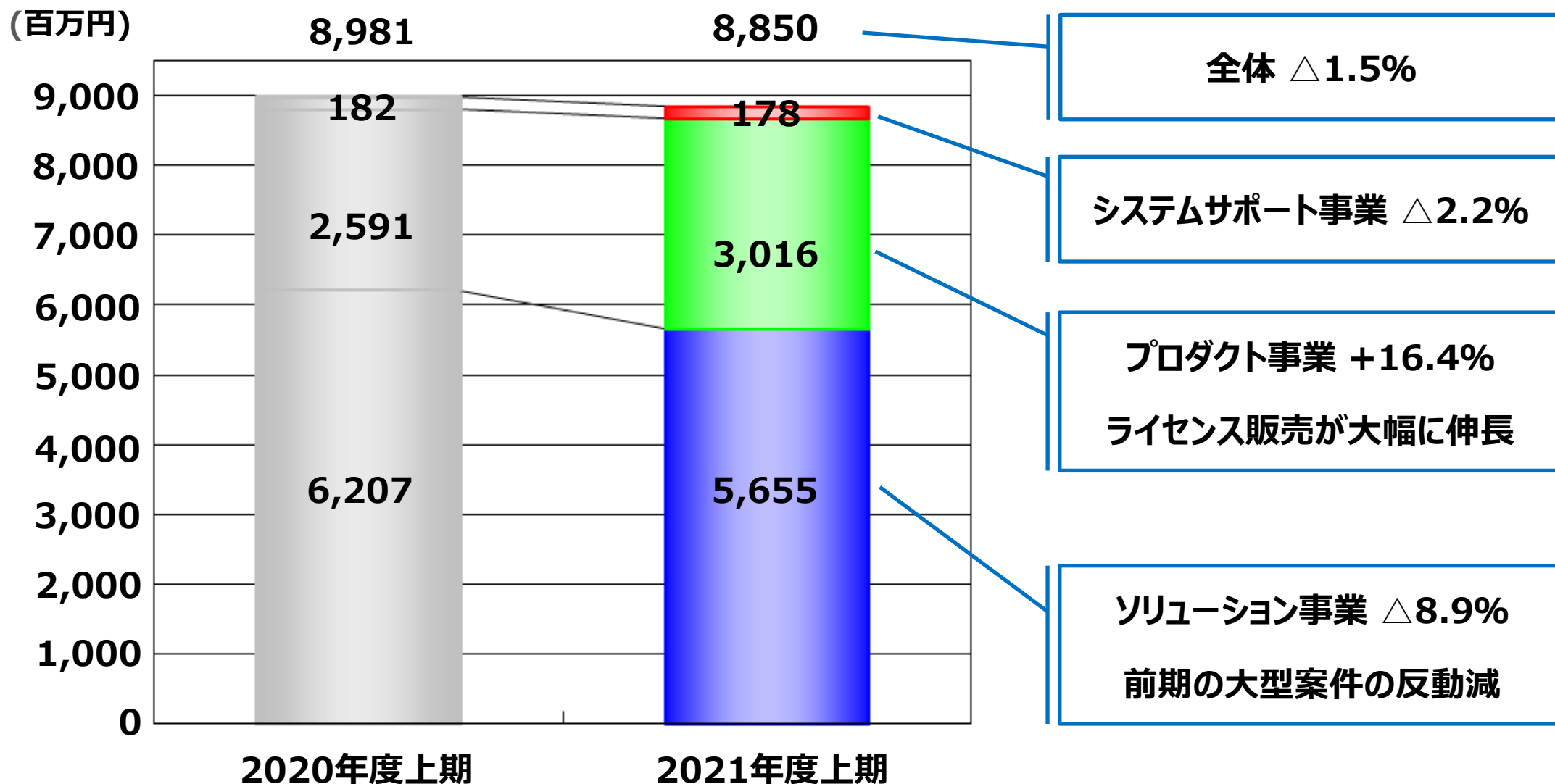
	2021年度上期 実績	2020年度上期 実績	差異 (増減率)
売上高	8,850	8,981	△ 130 (△1.5%)
売上総利益	2,902	2,853	49 (+1.7%)
売上総利益率	(32.8%)	(31.8%)	(+1.0%)※
営業利益	1,154	1,137	17 (+1.5%)
営業利益率	(13.0%)	(12.7%)	(+0.4%)※
経常利益	1,160	1,142	17 (+1.5%)
経常利益率	13.1%	12.7%	(+1.5%)
四半期純利益	790	756	34 (+4.5%)
四半期純利益率	8.9%	8.4%	(+4.5%)
受注高	8,450	9,178	△ 728 (△7.9%)

※:利益率の差異

ソリューション事業は不採算案件により前期比減少
 プロダクト事業のライセンス販売増とシステムサポート事業の採算性向上により前期比増加

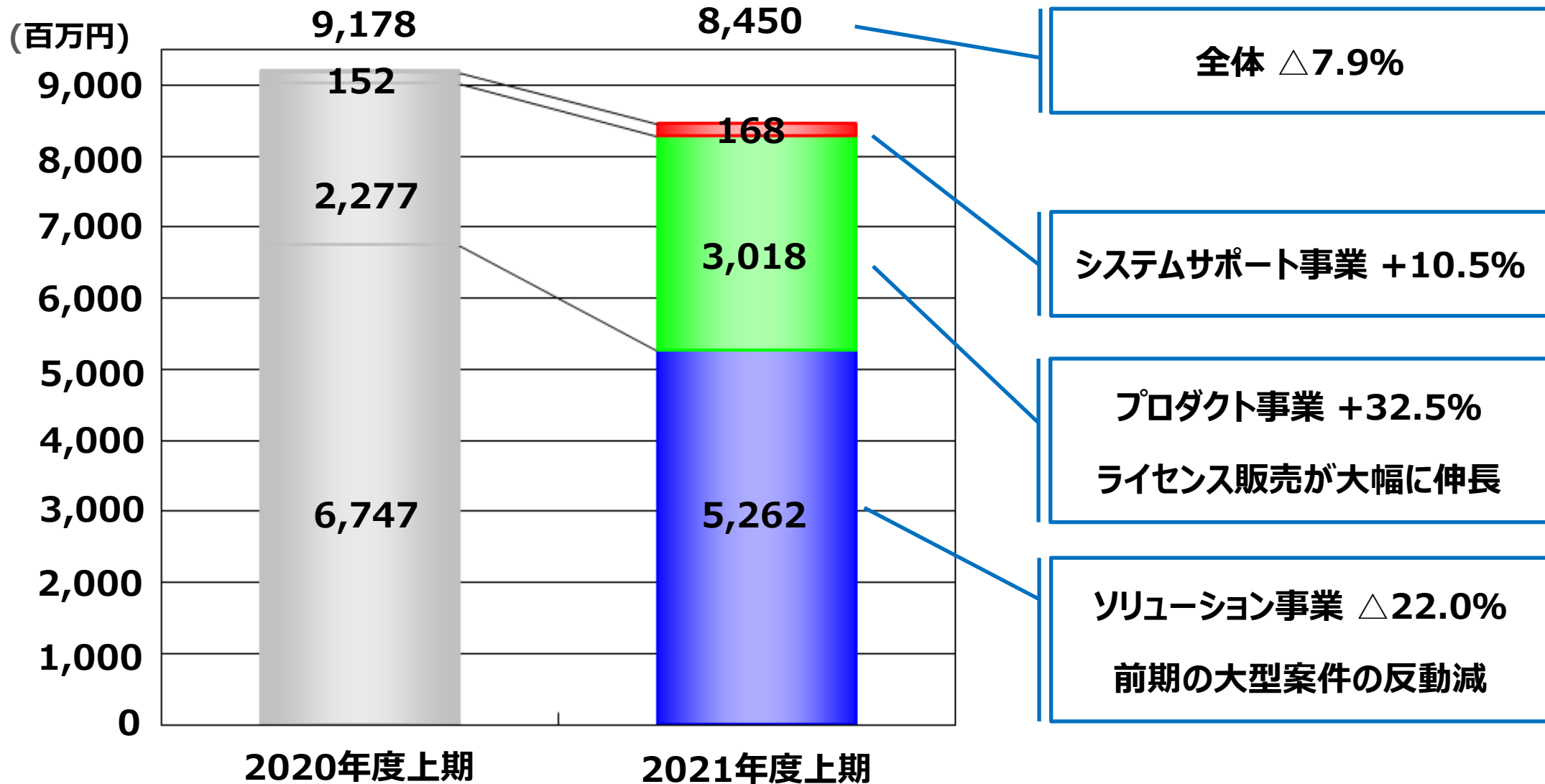
※ 2020年度上期実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

売上高の概要（前期比較）

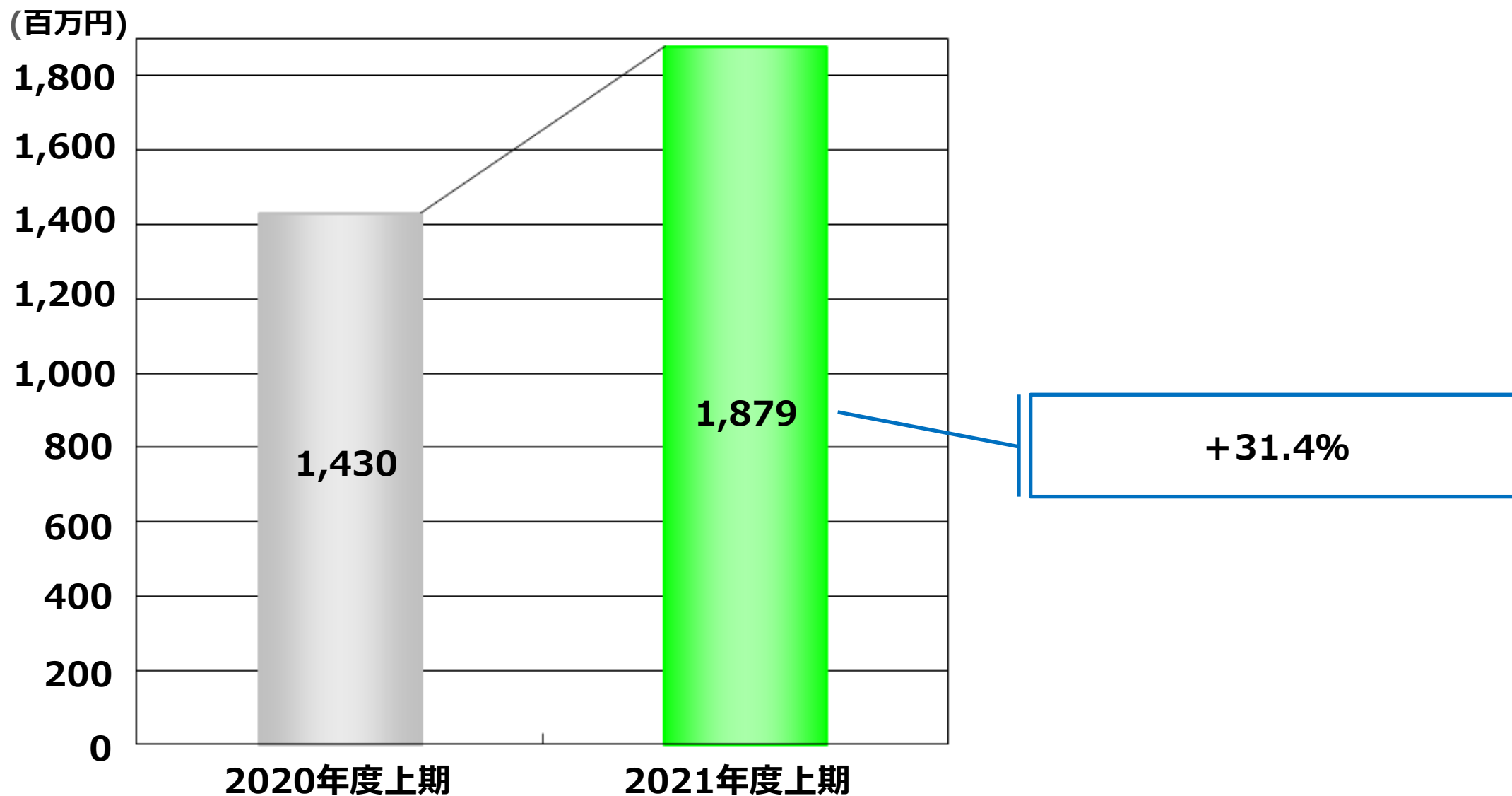


※ 2020年度上期実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

受注高の概要（前期比較）

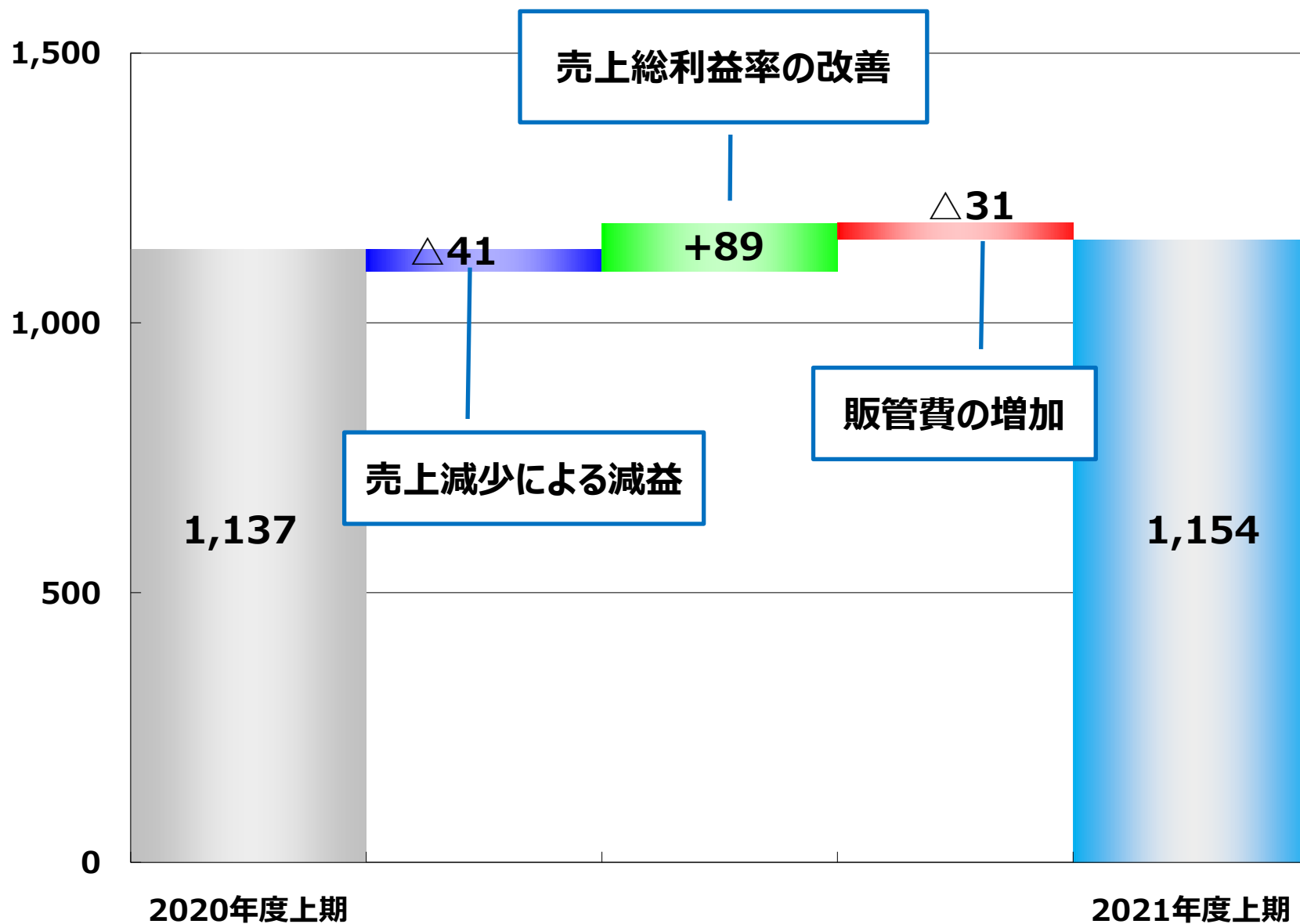


※ 2020年度上期実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。



※ 2020年度上期実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

営業利益の増減分析（前期比較）



※ 2020年度上期実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

貸借対照表の概要（前期比較） 資産の部

	2021年度上期	2020年度末	増減
現金及び預金	3,195	4,078	△882
受取手形及び売掛金	4,009	3,171	837
棚卸資産	11	67	△56
その他流動資産	475	457	17
流動資産計	7,691	7,775	△84
(比率)	(74.1%)	(74.2%)	
有形固定資産	155	158	△2
無形固定資産	1,347	1,298	48
投資その他の資産	1,180	1,248	△68
固定資産計	2,683	2,705	△22
(比率)	(25.9%)	(25.8%)	
資産合計	10,374	10,481	△106
(比率)	(100.0%)	(100.0%)	

※ 2020年度実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

貸借対照表の概要（前期比較） 負債純資産の部

	2021年度上期	2020年度末	増減
未払勘定	1,036	1,446	△409
短期借入金(※)	53	300	△246
その他流動負債	2,416	2,251	165
流動負債計	3,507	3,997	△489
長期借入金	-	170	△170
固定負債計	-	170	△170
負債合計 (比率)	3,507 (33.8%)	4,168 (39.8%)	△660
資本金	697	697	-
資本剰余金	565	565	-
利益剰余金	5,608	5,105	502
自己株式	△47	△170	123
その他の 包括利益累計額	42	114	△72
純資産合計 (比率)	6,867 (66.2%)	6,312 (60.2%)	554
負債純資産合計 (比率)	10,374 (100.0%)	10,481 (100.0%)	△106

※2021年度上期残高には、一年以内返済長期借入金53百万円を含んでおります。

※ 2020年度実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

キャッシュフローの概要（前期比較）

	2021年度 上期	2020年度 上期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	124	933	△809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△422	△376	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△580	△227	△353
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△3	0	△4
現金及び現金同等物の増減額	△882	330	△1,213
現金及び現金同等物の期首残高	4,078	2,159	1,918
現金及び現金同等物の期末残高	3,195	2,489	705

※ 2020年度上期実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

2022年3月期 通期業績予想について

事業環境

- 製造業の情報化投資はDXニーズが牽引し、引き続き堅調に推移。
- しかしながら、景気の下振れリスクが散見されるも、顧客の情報化投資意欲の後退懸念は払拭しきれない。

業績予想の概要：利益は変更ないものの、売上高を下方修正。

売上高：下方修正（△6.1%）

ソリューション事業で上期受注案件が計画に比し減少

利益：変更なし（営業利益 前期比+10.4%）

ソリューション事業が計画を下回る

プロダクト事業がライセンス販売の好調な推移で計画を上回る

システムサポート事業の業績が計画を上回る

損益の予想（前期比較）

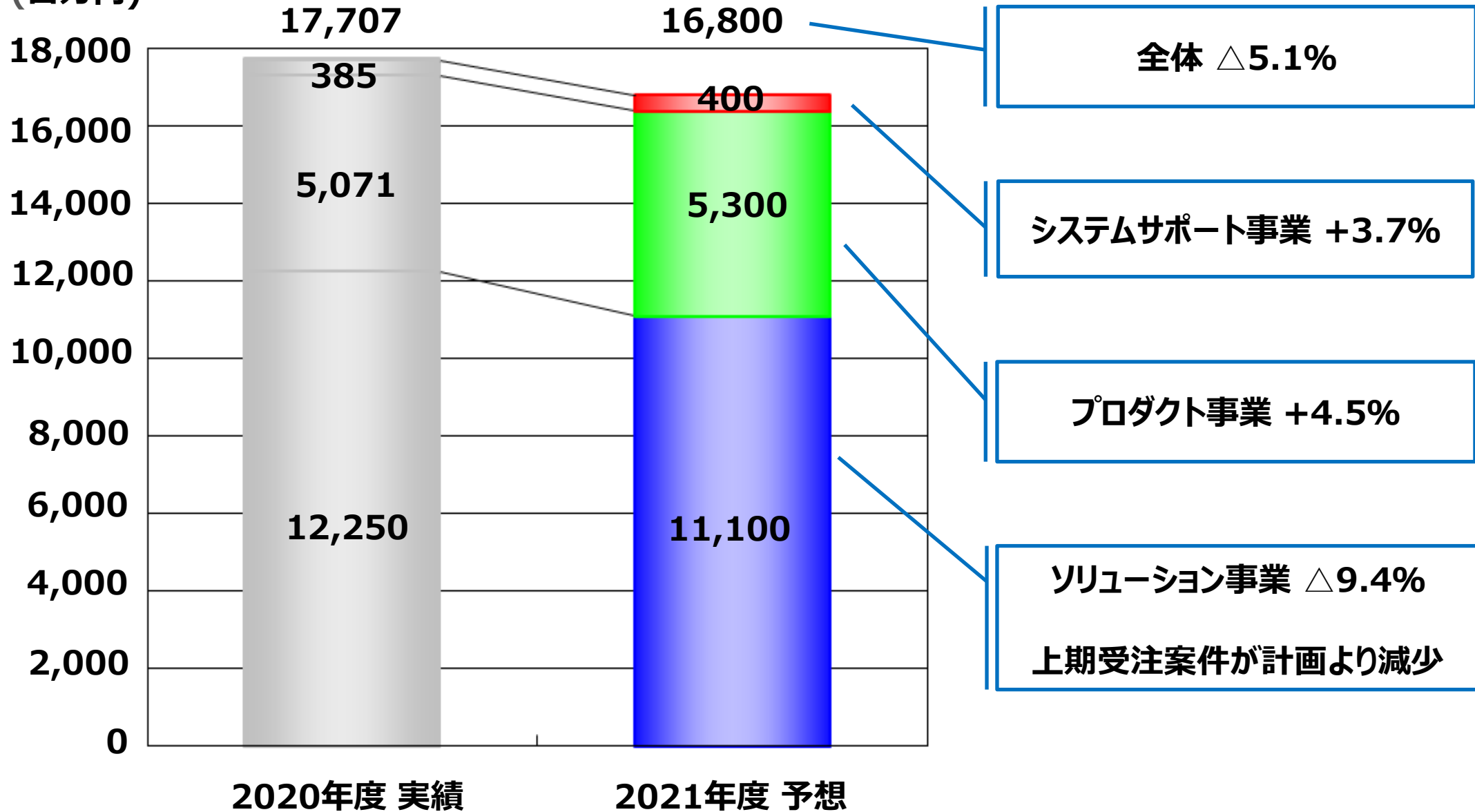
	2021年度(予想)	2020年度(実績)	差異(増減率)
売上高	16,800	17,707	△ 907 (△5.1%)
売上総利益	5,670	5,435	234 (+4.3%)
売上総利益率	(33.8%)	(30.7%)	(+3.1%)※
営業利益	2,100	1,902	197 (+10.4%)
営業利益率	(12.5%)	(10.7%)	(+1.8%)※
経常利益	2,100	1,895	204 (+10.8%)
経常利益率	(12.5%)	(10.7%)	(+1.8%)※
当期純利益	1,400	1,288	111 (+8.6%)
当期純利益率	(8.3%)	(7.3%)	(+1.0%)※
受注高	16,800	17,582	△ 782 (△4.4%)
配当（単体）	70.0円	70.0円	-
ROE	20.4%	22.7%	(△2.3%)

※ 2020年度実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

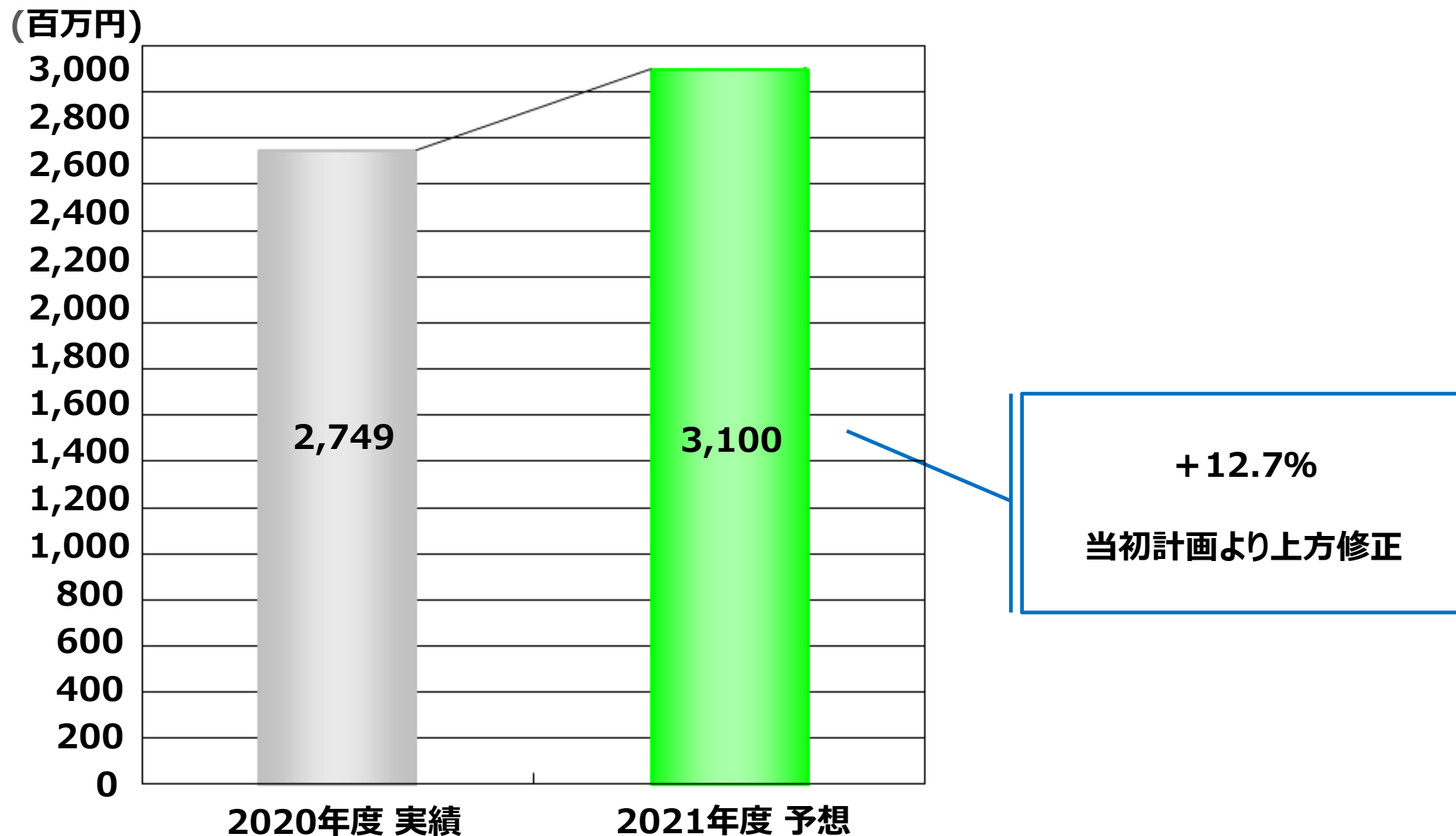
※:利益率の差異

売上高の予想（前期比較）

(百万円)

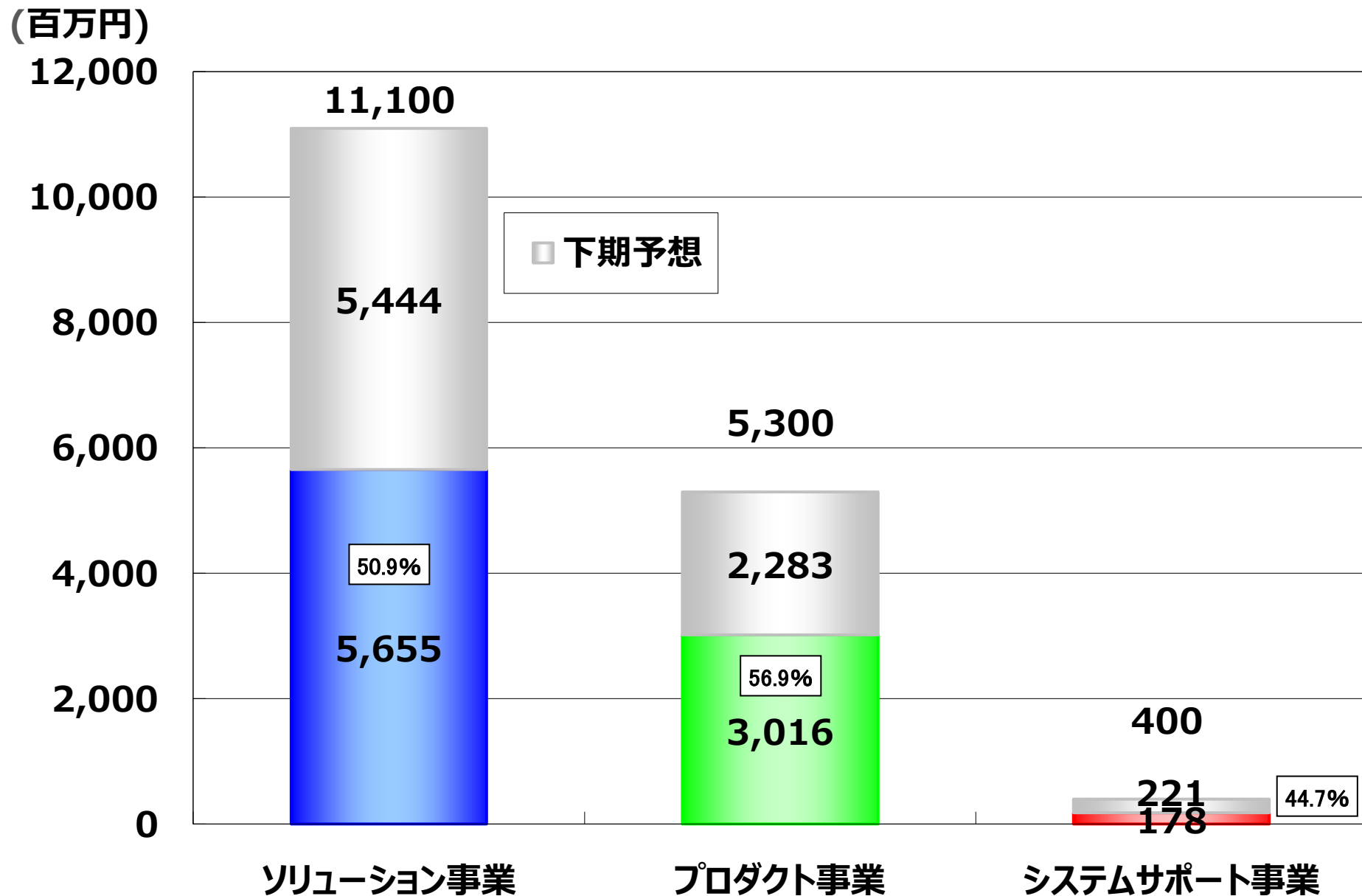


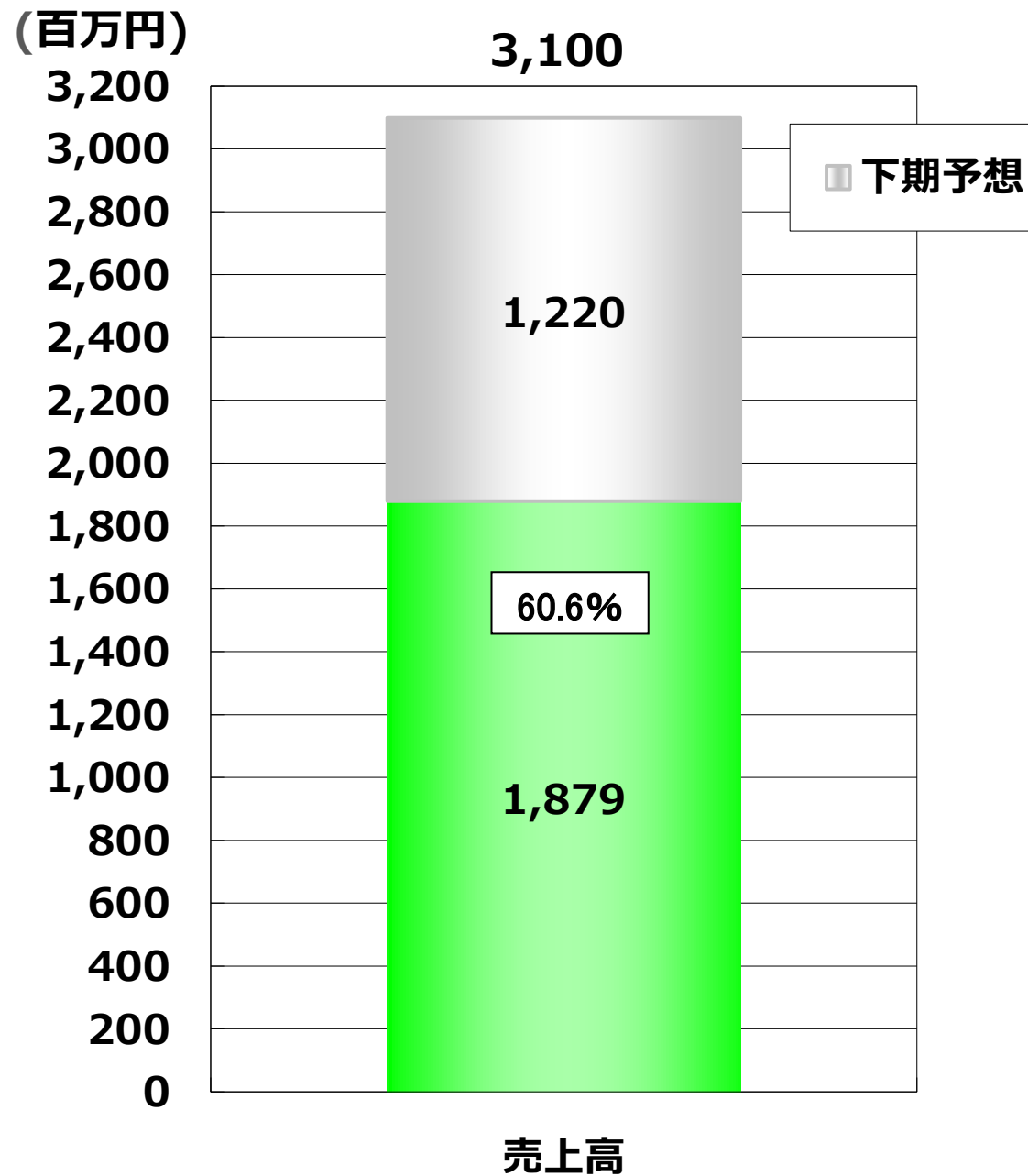
※ 2020年度実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。



※ 2020年度実績は、収益認識会計基準遡及適用後の数値となります。

通期 売上高 業績予想に対する 上期進捗状況





ありがとうございました

すべては変革のために

b-en-g

Business Engineering Corporation

<注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。